

デーリー東北

2025年(令和7年)3月12日(水曜日) (18)

来月から八工大学長就任の船崎氏

「地域の成長担いたい」

八戸工業大は11日、4月に新学長に就任する岩手大名誉教授・客員教授の船崎健一氏(67)と、学長を退任する坂本禎智氏(67)の記者会見を同大で開いた。船崎氏は「『挑戦する大学』を前面に掲げ、地域が力強く成長する礎の一端を担いたい」と意気込みを語った。任期は4月1日から4年間。

【4ページに「ひと」】

船崎氏は新潟県上越市出



会見で新学長就任の抱負を語る船崎健一氏(右)。左は現学長の坂本禎智氏

11日、八戸工業大

身。東北大工学部を卒業後、同大学院工学研究科博士課程の前後期課程を修了した。石川島播磨重工業に入社し、航空宇宙事業本部研究開発部に所属。退社後、岩手大工学部の講師や助教授、教授を経て、2014～16年に工学部長、16～20年に理工学部長を務めた。23年に同大を退職した。

会見で船崎氏は、高大連携や学生確保へ向けたトップセールスに意欲を示し、「この大学に行ってみたいと思ってもらえるよう、大学だけでなく地域の魅力も発信したい」と述べた。

20年4月から5年間、学長を務めた坂本氏は、大学50周年に合わせて改組や新体制構築に取り組んだことなどを振り返り、船崎氏に「新しいアイデアで次の展開を進めてくれたら」とエールを送った。

(上條哲洋)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。